

RTMT からのデータ エクスポート

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[問題](#)

[解決策](#)

[CLI からのレポート](#)

概要

この資料はユーザー フレンドリー テーブル形式でシステムのヘルス ステータスについての Cisco Unified Communications Manager (CUCM) の情報をチェックする役に立つツールである 実時間監視ツール (RTMT) を、登録されていた電話、コンピュータ テレフォニー インテグレーション (CTI) 接続、等説明したものです。RTMT は Cisco リアルタイム情報サーバ (RIS) データコレクタ、Cisco AlertMgrCollector (AMC) サービス、Cisco Tomcat 統計 Servlet、Cisco トレース収集サービス、Cisco トレース収集 Servlet、Cisco ログ パーティション監視ツール、シンプル オブジェクト API を、Servlet Cisco RTMT レポーター監察する、アクセスプロトコル (石 鹼) -リアルタイムサービス API、石 鹼パフォーマンス Cisco CallManager サービスビリティ RTMT、および Cisco Tomcat Service に依存しています。

前提条件

要件

Cisco は CUCM および RTMT のナレッジがあることを推奨します。

使用するコンポーネント

この文書に記載されている情報は CUCM バージョン 7.1.5 および それ 以降に基づいていましたり、以前のバージョンのためにはたらくかもしれません。

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期 (デフォルト) 設定の状態から起動しています。稼働中のネットワークで作業を行う場合、コマンドの影響について十分に理解したうえで作業してください。

問題

PDFファイルまたは Microsoft Excel 資料に表示されたデータをエクスポートすることを可能にする RTMT ツールで示されるオプションがありません。

解決策

RTMT はエンド ポイントの状態を、登録されていた電話のような、Cisco RIS データコレクタ サービスのメディア リソース、内線番号、Media Gateway Control Protocol (MGCP)、H.323 ゲートウェイ、Session Initiation Protocol (SIP) トランクおよび CTI セッション、ポーリングしません。CLI からのこのダイナミック情報をチェックすることもまた可能性のあるです。

非常に一般的なタスクはすべての登録されていた/未登録電話についての情報および電話負荷についての情報を検索することです。それは **Call Manager > デバイス検索 > 電話 (あらゆるステータス)** の下の RTMT で見つけることができます。RTMT からのレポートのスクリーン ショットは Problem セクションで示されています。

CUCM バージョン 10.0 および それ 以降では、登録されていた電話についての同じ情報は **音声 /ビデオ > デバイス検索 > 電話 (あらゆるステータス)** の下の RTMT で表示することができます。

同じ情報を、IP 電話登録されていたチェックするために、アクティブなファームウェアおよび非アクティブ ファームウェアは、**提示 risdb クエリ電話コマンド**を入力します:

```
admin:show risdb query phone
```

```
----- Phone Information -----
#TotalPhones, #TotalRegistered, #RegisteredSCCP, #RegisteredSIP, #UnRegistered,
#Rejected, #PartiallyRegistered, StateId, #ExpUnreg4, 3, 1, 2, 0, 1, 0, 49,0

DeviceName, Descr, Ipaddr, Ipv6addr, Ipv4Attr, Ipv6Attr, MACaddr, RegStatus,
PhoneProtocol, DeviceModel, HTTPsupport, #regAttempts, prodId, username, seq#,
RegStatusChg TimeStamp, IpAddrType, LoadId, ActiveLoadId, InactiveLoadId, ReqLoadId,
DnldServer, DnldStatus, DnldFailReason, LastActTimeStamp, Perfmon Object

SEP6C416A369375, t7841, 10.147.94.124, , 0, 0, 6C416A369375, reg, SIP, 622, yes, 0,
509, malevich, 1, 1404913142, 1, sip78xx.10-1-1SR1-4, sip78xx.10-1-1SR1-4,
sip78xx.10-1-1-9, , , 0, , 1404913142, 2

SEP0018B9A0442B, c7941, 10.147.94.204, , 3, 0, 0018B9A0442B, reg, SCCP, 115, yes, 0,
115, allevich, 2, 1404913140, 1, SCCP41.9-3-1SR4-1S, SCCP41.9-3-1SR4-1S, , , , 0, ,
1404913140, 2

SEPD0C7891413BC, dx650, 10.147.94.182, , 0, 0, D0C7891413BC, reg, SIP, 647, yes, 0,
532, kalevich, 4, 1404913141, 1, sipdx650.10-1-2-33, sipdx650.10-1-2-33,
sipdx650.10-0-2-32, , , 0, , 1404913141, 2

SEP8CB64FF7E2EE, , 10.147.94.133, , 3, 0, 8CB64FF7E2EE, rej, SCCP, 436, yes, 0,
335, NoUserId, 7, 1405069589, 1, , , , , 0, , 1405069635, 0

-----
Total count 4
-----
```

情報は Excel ファイルにエクスポートすることができます。提示 **risdb クエリ電話** コマンドの出力をテキストエディタにコピー アンド ペーストし、ファイルをと同時に .csv (「」区切られるカンマ分離されている値が「カンマによって」ファイル保存して下さい。たとえば、名前 UCM_export_data_RTMT2.csv と。

それから、Microsoft Excel が付いているファイルを開けばテーブル レポートの形式で表示されま

す。
RTMT 出力と CLI コマンドの 1 つの違いはデバイス モデル カラムです。RTMT は電話モデルのユーザー フレンドリー プレゼンテーションが含まれています (たとえば、7841) およびその CLI の Cisco は対応する数値です (たとえば、Cisco IP Phone 7841 のための 622)。数字 (列挙) 値の表の異なる電話のタイプを中から探すために、実行 SQL を『*』を選択します **TypeModel** コマンドから入力して下さい。

コマンドは **risdb** が Call Manager サービスがアクティブになるコール処理ノードでクエリ電話しか使用する必要がないことを示します。このコマンドがノンコール処理ノードで入力される場合、エラーメッセージ「*PhoneTable の openMMF*」は表示されます失敗しました。

CLI からのレポート

エンド ポイントおよびサービスについての利用可能なレポートのリストを表示するために、提示 **risdb list** コマンドを入力して下さい。情報はまた RTMT で表示できます。

CLI コマンド RTMT 場所

電話	CallManager -> デバイス-> デバイス検索-> 電話 (どのステータスでも)
ctiextn	CallManager -> デバイス-> デバイス検索-> CTI デバイス (あらゆるステータス-> 完了)
h323	CallManager -> デバイス-> デバイス検索-> H323 デバイス (あらゆるステータス-> 完了)
mediaresource	CallManager -> デバイス-> デバイス検索-> メディア リソース (あらゆるステータス-> 完了)
huntlist	CallManager -> デバイス-> デバイス検索-> ハント リスト (あらゆるステータス-> 完了)
ctimprovider	CallManager -> CTI -> CTI 検索-> アプリケーション (あらゆるステータス-> 完了)
ctimeline	CallManager -> CTI -> CTI 検索-> 行 (あらゆるステータス-> 完了)
一口	CallManager -> デバイス-> デバイス検索-> SIP トランク (あらゆるステータス-> 完了)

CLI からのパフォーマンス カウンターをチェックするために、管理者は提示 **PERF クエリ クラス「クラスネーム」** コマンドを入力できます。Media Termination Point (MTP) リソースが呼び出されるかどうか確認する方法をたとえば、この例に示されています:

```
admin:show risdb query phone
```

```
----- Phone Information -----
```

```
#TotalPhones, #TotalRegistered, #RegisteredSCCP, #RegisteredSIP, #UnRegistered,  
#Rejected, #PartiallyRegistered, StateId, #ExpUnreg4, 3, 1, 2, 0, 1, 0, 49,0
```

```
DeviceName, Descr, Ipaddr, Ipv6addr, Ipv4Attr, Ipv6Attr, MACaddr, RegStatus,  
PhoneProtocol, DeviceModel, HTTPsupport, #regAttempts, prodId, username, seq#,  
RegStatusChg TimeStamp, IpAddrType, LoadId, ActiveLoadId, InactiveLoadId, ReqLoadId,  
DnldServer, DnldStatus, DnldFailReason, LastActTimeStamp, Perfmon Object
```

```
SEP6C416A369375, t7841, 10.147.94.124, , 0, 0, 6C416A369375, reg, SIP, 622, yes, 0,  
509, malevich, 1, 1404913142, 1, sip78xx.10-1-1SR1-4, sip78xx.10-1-1SR1-4,  
sip78xx.10-1-1-9, , , 0, , 1404913142, 2
```

SEP0018B9A0442B, c7941, 10.147.94.204, , 3, 0, 0018B9A0442B, reg, SCCP, 115, yes, 0, 115, allevich, 2, 1404913140, 1, SCCP41.9-3-1SR4-1S, SCCP41.9-3-1SR4-1S, , , , 0, , 1404913140, 2

SEPD0C7891413BC, dx650, 10.147.94.182, , 0, 0, D0C7891413BC, reg, SIP, 647, yes, 0, 532, kalevich, 4, 1404913141, 1, sipdx650.10-1-2-33, sipdx650.10-1-2-33, sipdx650.10-0-2-32, , , 0, , 1404913141, 2

SEP8CB64FF7E2EE, , 10.147.94.133, , 3, 0, 8CB64FF7E2EE, rej, SCCP, 436, yes, 0, 335, NoUserId, 7, 1405069589, 1, , , , , 0, , 1405069635, 0

Total count 4

**パフォーマンスカウンタ コマンドの完全なリストを表示するために提示 PERF リスト クラスを
コマンド入力して下さい。**